

東山会 庶務理事  
名古屋大学大学院工学研究科  
機械理工学専攻 教授

巨 陽



### 第14回・第15回東山会イブニングサロン開催報告

2014年12月5日（金）、名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階のベンチャーホールにおいて、第14回東山会イブニングサロンが開催されました。今回は日本機械学会東海支部との共催で、「先進ものづくりを支える加工技術と事業化のキーポイント」と題して2件のご講演をいただきました。

1件目は、日本機械学会東海支部からの推薦により、メジエップ（株）代表取締役 山口勝美氏（名古屋大学名誉教授、昭和35年機械科卒 19回生）から、「大学発ベンチャーの難題と遭遇するカルチャショック」と題したご講演をいただきました。初めに、「ユニークな研究をしたい」というお考えから大学で始められた研究をご紹介いただき、更に、それをもとに始められたベンチャーでの10年を超えるご経験と、そこで感じられたプロフェッサーとアントレプレナーの間のカルチャーの違いを具体例を挙げてお話しいたきました。

2件目は、東山会理事からの推薦で、大同特殊鋼（株）加工・成形プロセス研究室室長 藤原正尚氏（平成12年機械科卒 59回生）から、「エネルギー産業における特殊鋼製品の開発動向ともの作り」と題したご講演をいただきました。まず、発電設備を中心としたエネルギー産業機器の現状と開発動向をお話しいたいただき、更に主要部品に用いられる特殊鋼材料・製品の開発状況をご説明いただきました。また、特殊鋼製品のもの作り技術、特に鍛造・切削における技術開発の動向と今後の方向性についてもご紹介いただきました。



日本機械学会東海支部 庶務幹事  
新井史人氏（名古屋大学教授）による挨拶



メジエップ（株）代表取締役  
山口勝美氏（名古屋大学名誉教授、S35年卒）



大同特殊鋼（株）  
加工・成形プロセス研究室室長  
藤原正尚氏（H12年卒）



熱心に耳を傾ける参加者

また、2015年9月18日（金）、名古屋大学工学研究科2号館機械・航空学科製図室において、第15回東山会イブニングサロンが開催されました。講師として、三菱重工業株式会社 防衛・宇宙ドメイン 宇宙事業部 宇宙システム部 次長 坪井 正徳 氏（昭和62年機械科卒 46回生）をお迎えし、「日本の基幹ロケットの現状と今後」と題したご講演をいただきました。

宇宙に人工衛星などを運ぶロケットは非常に多くの部品から成る大規模システムであると共に、一度飛び上がったなら地上に戻して修理することが出来ないという特徴があります。基幹ロケット H-IIA の開発経験をもとに、ロケット開発の歴史と特徴について解説いただき、基幹ロケットによる打上輸送サービス事業と今後の見通しについてご紹介いただきました。



東山会会長 杉田雄二氏（S46年卒）による挨拶



三菱重工業（株）防衛・宇宙ドメイン  
宇宙事業部 宇宙システム部  
次長 坪井 正徳 氏（S62年卒）



活発な質疑応答が行われました。  
今回は航空教室の先生方、学生さんも  
ご参加くださいました。

ものづくりを支える加工技術とベンチャービジネス、またロケット開発への関心の高さから、第14回・第15回ともに多くの皆様にご参加いただきました。ワインとサンドイッチをお召し上がりいただきながらのくつろいだ雰囲気の中、活発な質疑応答が行われ、また、いずれのご講演に対しても「大変わかりやすかった」、「興味深かった」「貴重なお話を伺えてよかった」との感想が寄せられました。ご講演を賜りました山口勝美先生ならびに藤原正尚様、坪井正徳様、ご参加くださいました在校生、卒業生、教員の皆様、誠にありがとうございました。

今後も東山会では卒業生の活躍ぶりをお伝えすべく、充実したイブニングサロンを企画していきたいと考えております。奮ってご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



次回もワインとサンドイッチをご用意してお待ちしております。